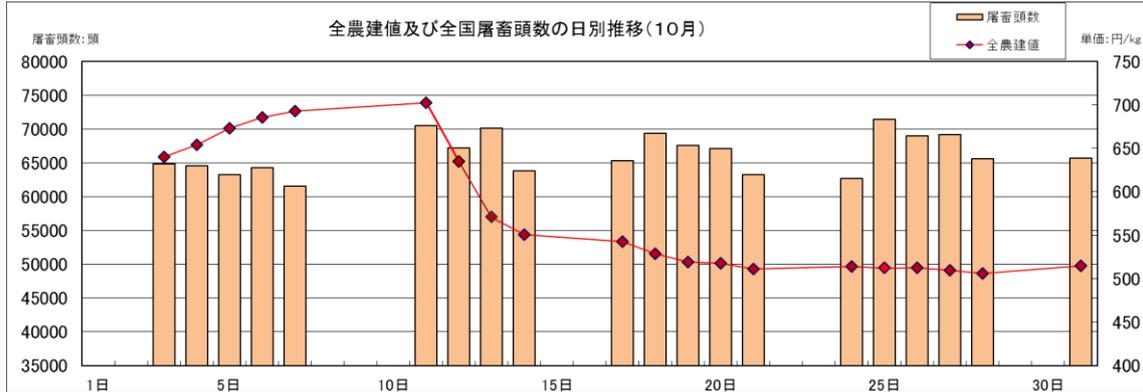


# 肉豚インフォメーション（10月）

## 【全農建値】

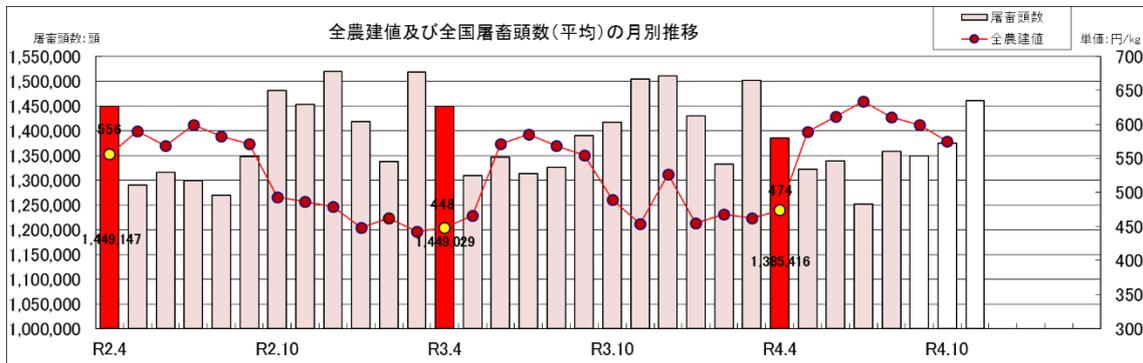
2022年10月（税抜）	2021年10月（税抜）	※過去30年で最も高い相場
575円/kg（86円高）	489円/kg	

10月は、上旬にかけて出荷頭数が伸び悩み異例の高値相場で推移した。中下旬にかけて出荷頭数の増加とともに相場は急落したが、過去30年で最も高い相場となった。



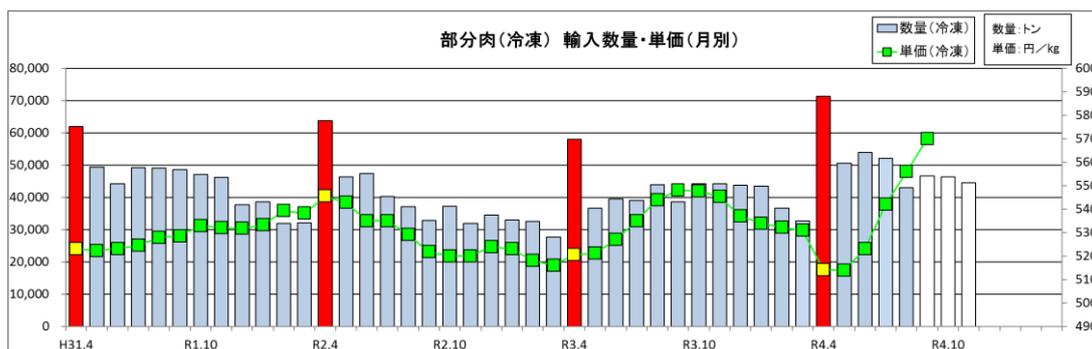
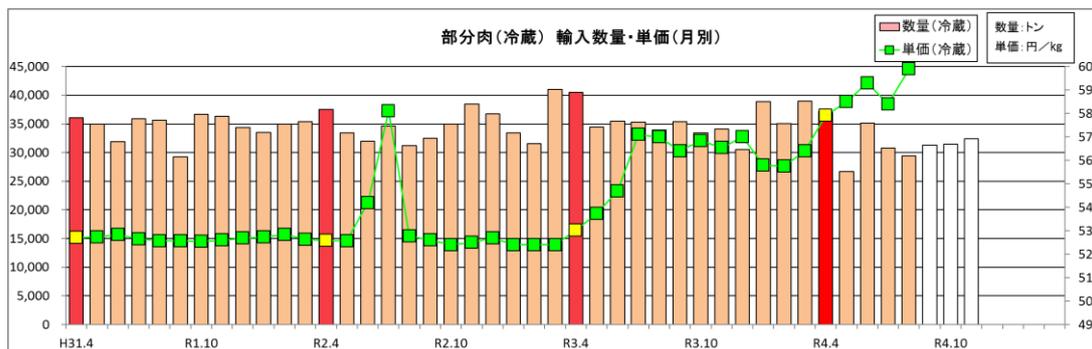
## 11月以降の動向

11月の出荷頭数は、前年同月をわずかに上回ると予測されている。



冷蔵品輸入量は、継続的な北米における現地価格の高騰及び為替相場の変動等から、10月はかなりの程度、11月はやや、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。冷凍品輸入量は、9月まで見られたような対前年増加率は落ち着くものの、スペイン産及び米国産等の輸入量が多いと見込まれることから、10月はやや、11月はわずかに、いずれも前年同月を上回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなりの程度上回ると予測する。

(ALIC 豚肉の需給予測について 10月27日)



先月 11 日に「全国旅行支援」を開始され、観光需要や外食需要の回復が期待されている。一方で、生産コストの上昇要因の一つとなっている記録的な円安だが、輸入豚肉価格の上昇やインバウンド需要など相場の押し上げ要因にもなってきている。

また、鍋物需要などにより国産鶏もも肉の価格が上昇してきている一方で、茨城や肉用鶏の産地でも鳥インフルエンザが発生するなど供給不安がある。年末に向けて鍋物需要がさらに強くなることから、国産豚肉相場の押し上げ要因となるのか今後の国産鶏肉相場動向に注目する。

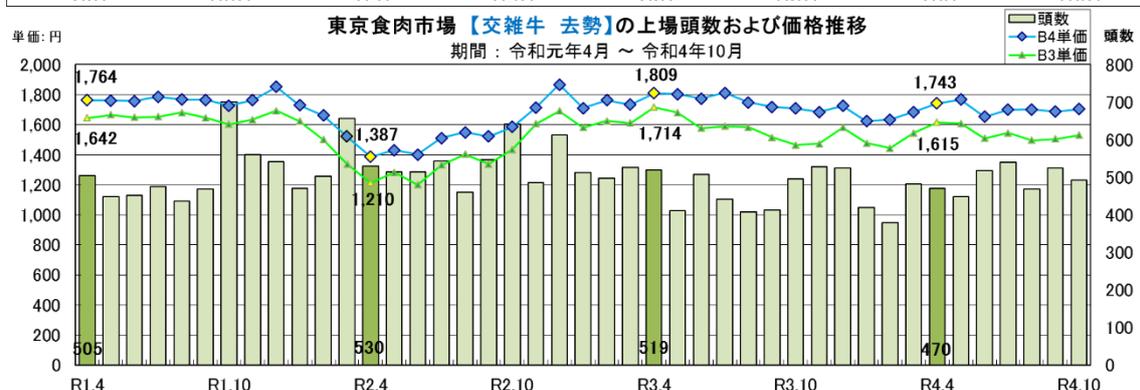
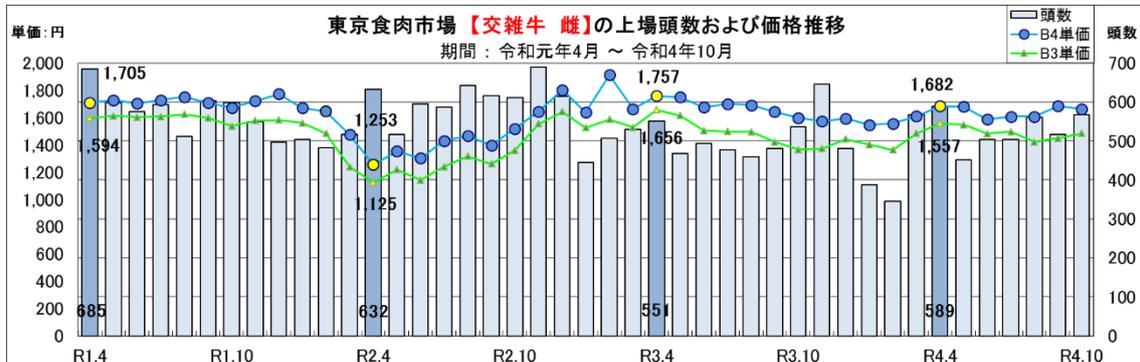
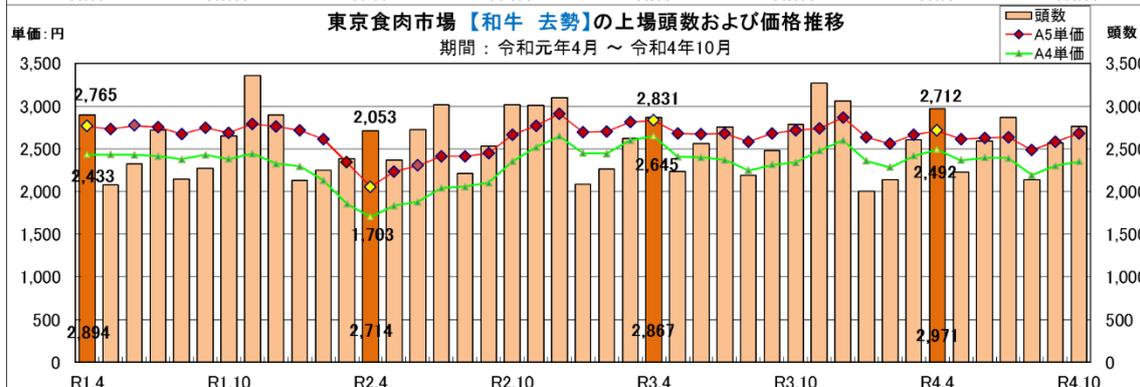
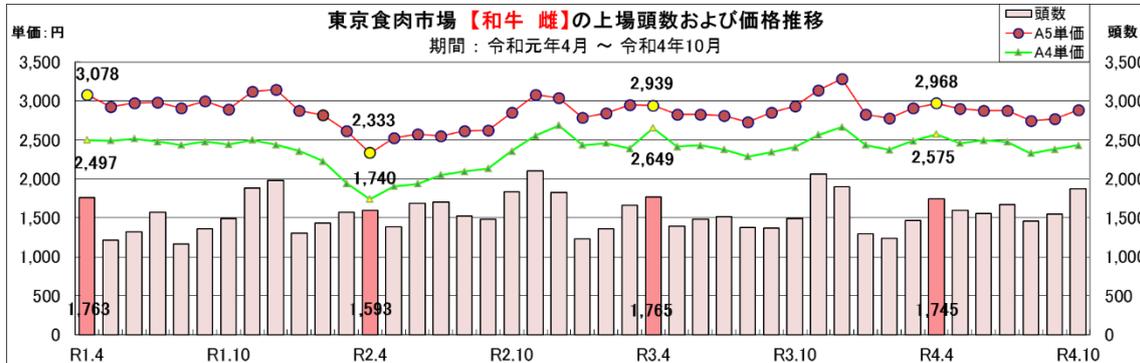
1 1 月の相場は底堅く推移する見通し。

全農建値(税抜) 予測レンジは 510 円～580 円とする。

# 肉牛インフォメーション（10月）

## ● 10月の動向

9月よりも相場は値を上げた動きとなった。交雑牛は好調を維持したが、和牛は去勢 A5 等級の平均が 2,600 円を超える週が続いたものの、昨年の相場には届かなかった。全国旅行支援の開始や外国観光客入国制限の解除など期待材料はあったものの末端需要は弱かった。



● 11月の動向予測

例年、中旬から年末に向けて手当てが動き出すが、現状では外食や量販からの引き合いは弱い。とはいえ、11月は共励会等が多く、肉質の良い牛が揃いやすいことを考えると相場が下がることはないと思込む。

11月相場は「もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2,650円（税込み）      A4等級 2,450円（税込み）

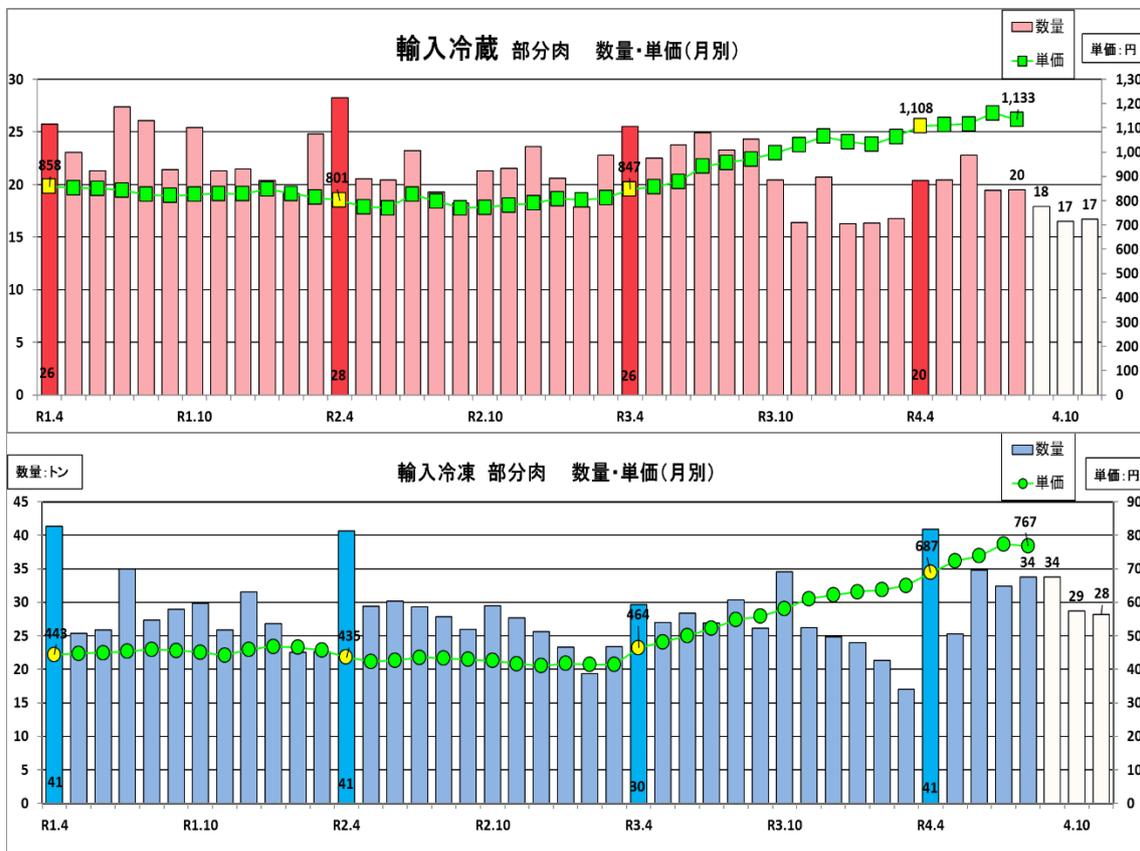
交雑去勢 B4等級 1,750円（税込み）      B3等級 1,600円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、10月は、国内需要の低下や為替の影響等から、前年同月を大幅に下回ると予測する。11月も、5カ年平均で見ると同様な減少傾向が続くが、前年同月の米国産等の輸入量が現地価格の高騰により少なかったこと等から、前年同月比としては、わずかに上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期を大幅に下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、10月は、前年同月の豪州産の輸入量が多かったことや、米国産の輸入量が前年同月より減少するとみられること等から、前年同月を大幅に下回ると予測する。11月は、輸入量自体は10月より減少する見込みではあるものの、前年同月比では、前年同月の米国産、カナダ産等の輸入量が現地価格の高止まり等から少なかったことから、かなりの程度上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をやや上回ると予測する。

（ALIC牛肉の需給予測について10月27日）



●消費動向

10月は、ホテルからの引き合いはあるものの高級部位の荷動きは鈍かった。量販店はライスや切り落とし材を中心に動いた。11月は、秋冬向けの提案が本格化する時期だが、量販店を中心とした需要低迷が続くなか荷動きは弱いと見込む。鍋物需要が強まる月後半からの荷動きに期待したい。

●全農茨城県本部家畜市場動向

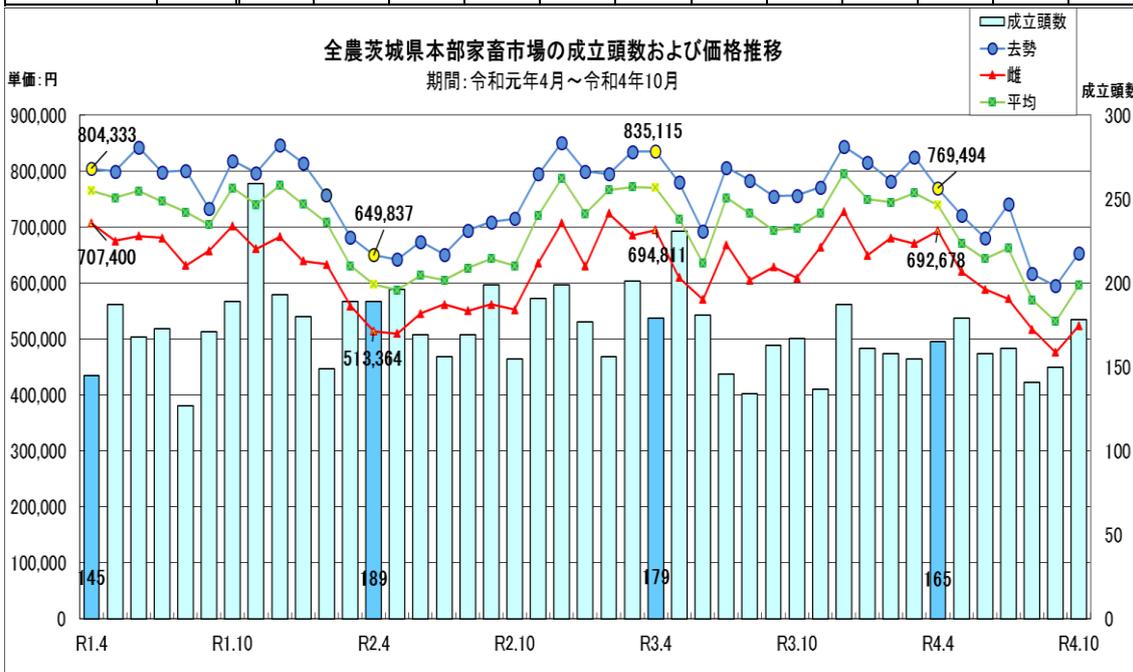
素牛平均価格（10月税込）は、黒毛和種の雌は523,934円で前月比+47,690円、去勢は653,667円で前月比+58,753円となった。上場頭数（成立）は178頭で前月比+28頭。

次回上場頭数は160頭を予定している。

全農茨城県本部家畜市場実績（和牛子牛）

（税込）

	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年度 平均単価	673,129	597,847	587,552	614,164	605,310	626,590	643,417	630,988	721,612	787,489	723,844	766,531	772,200
去勢	734,165	649,837	642,142	674,214	650,911	694,492	709,130	714,912	794,798	850,944	799,476	794,563	834,562
雌	598,275	513,364	510,047	545,753	561,990	550,285	562,199	552,310	635,950	707,450	630,022	724,591	685,339
3年度 平均単価	730,497	770,842	714,424	635,683	752,483	724,531	694,491	698,157	724,764	795,341	749,776	744,087	761,385
去勢	787,183	835,115	780,016	692,025	806,078	783,500	754,794	756,500	771,029	844,433	815,667	781,744	825,290
雌	648,362	694,811	609,771	570,768	668,800	605,318	628,777	608,940	663,598	728,228	649,911	680,900	670,519
4年度 平均単価	630,606	739,233	671,234	643,591	662,357	569,995	531,740	596,089					
去勢	682,522	769,494	721,233	680,689	741,157	616,499	594,914	653,667					
雌	570,254	692,678	620,672	589,102	572,000	517,150	476,244	523,934					
2年度 成立頭数	178	189	196	169	156	169	199	155	191	199	177	156	201
3年度 成立頭数	167	179	231	181	146	134	163	167	137	187	161	158	155
4年度 成立頭数	162	165	179	158	161	141	150	178					



# 食肉インフォメーション（10月）

日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査9月度結果報告によると、コロナ第7波のピークが過ぎて月後半から客足が回復し、店内飲食増加の動きがみられたことから、全体売上は緊急事態宣言中であった前年比で119.7%、2019年比でも94.1%となり、8月よりも明るい兆しが見えた。

量販店については、日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の9月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は1,129億円(前年同月比99.0%、既存店ベース97.4%)で、内食需要の落ち着きに加えて値上げが影響し、買上点数が減少した。牛肉・豚肉は国産・輸入問わず相場高騰により販促が打ちづらく、動きが鈍かった。畜産部門全体で原価が高騰し、利益が圧迫されている状況となっている。

10月はスポーツの日を含む3連休のほか、全国旅行支援の開始と入国制限緩和が予定されており、外食需要の高まりが期待される。一方で、相次ぐ物価高騰により消費者の節約意識は引き続き高いため、小売関係の需要は厳しい状況が見込まれる。

## ○牛肉

9月は、国産では2度の3連休に向けた観光需要として焼き材を中心に荷動きがあったが、天候不順で販売は限定的となった。和牛ロースなど単価が高い商品は引き続き動きが鈍く、不振となった。輸入牛は円安の影響もあって価格の高止まりが続いており、目立った動きは見られなかった。

## ○豚肉

9月は、国産では学校給食の再開やシルバーウィークに向けた動きにより需要増加となっていたが、盆休みが近づくとつれて焼肉用のバラを中心に活発な荷動きとなった。輸入では、入船遅れによる供給不安定から冷蔵のバラの需給がひっ迫した一方で、冷凍品は在庫過多となり需給が軟化傾向となった。

## ○業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和4年9月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和2年9月	12,187	13,295	8,876	39,630	17,606	11,072	5,398	108,064
令和3年9月	10,021	13,067	673	33,682	13,956	13,397	5,128	89,924
令和4年9月	11,014	12,714	7,791	25,596	18,240	9,575	6,776	91,706
増減 (R4-R3)	993	-353	7,118	-8,086	4,284	-3,822	1,648	1,782
対比 (R2/R4)	90%	96%	88%	65%	104%	86%	126%	85%
対比 (R3/R4)	110%	97%	1,158%	76%	131%	71%	132%	102%